

同居御届

從弟違

寄合 駒井半藏
小普請組
西郷齋宮支配

本多直橋

右直橋居屋敷家作大破ニ付、普請出來仕候迄、當分之内私方、同居爲仕候、此段御届申上候、以上、

八月六日

駒井半藏

〔諸例集〕續名目之儀ニ付問合

文化七年七月廿一日、伊藤河内守差出袋廻し、

一從弟之孫ニ者續無御座候と相心得罷在候得共、又從弟之名目も御座候哉、且又段違、又從弟と唱候も、又從弟之續御座候哉、御問合申上候、以上、

西丸表御右筆

七月

青木傳八郎

書面之通者從弟之孫ニ者續無之、又從弟之名目も無之候、且又段違、又從弟と唱候名目無之、大伯叔父孫之母者、又從弟之續ニ而候、

雜載

〔諸例集〕柳生播磨守答略

一養子願書御老中様御落手有之候、次者家督不定内者、養父母之外親類唱方、養父之父母者、祖父母とも難相唱、兄弟者、伯父叔父とも難相唱儀に御座候哉、

書面之通にて候

右之趣奉伺候、以上、

前田豊之丞内